

令和6年度 安来市立南小学校
学校経営計画 グランドデザイン

学校経営理念

<自ら学び、
友だちと協力して問題を解決しようとする子ども>

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現
・ 基礎的・基本的な知識・技能の習得
・ 探究的な学習の充実
（生活科と総合的な学習の時間を中心に）
・ 体験的な活動の場の充実
・ 知的好奇心を高める問いの設定
・ 考えが揺さぶられる対話的な学びの場
・ 「聞く力」「書く力」「話す力」の向上
- ② 一人一台タブレットとICT機器を活用した授業改善
・ タブレットを積極的に活用した学習の場の設定
（クラスルームの活用…ジャムボード、まなびポケット等）
・ 学びに向かう力を高める仕掛け
- ③ 「個別最適化」された学びの保障
・ 一人一人の困り感に寄り添った指導の充実
・ 個の学び方に応じた特別支援教育の実施
- ④ 図書館活用教育の推進
・ 朝読書活動や読み語りによる読書好きになる仕掛け
・ 情報収集能力や情報活用能力の向上
（読書の記録、思考ツール、情報カード）

はじめにこどもありき
～ 一人一人を大切にする教育 ～

めざす学校像

「わくわく」「どきどき」「きらきら」が
あふれる学校づくり

学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる
子どもの育成

めざす子ども像

みんな なかよし みな元気

- 自ら学び、友だちと協力して問題を解決しようとする子ども
- 思いやりの心を持ち、相手の立場に立って考え行動できる子ども
- 進んで体をきたえ、粘り強い子ども

<思いやりの心を持ち、
相手の立場に立って考え行動できる子ども>

- ① 人権教育の充実
・ 自己有用感、人間関係形成能力、自尊感情の育成
・ 多様性への価値を深める「特別の教科 道徳」
- ② 特別の教科「道徳」を要とした道徳教育の推進
・ 自分で判断し、行動できる実践力の育成
・ 相手の話に思いを馳せて聴く、相手の気持ちを想像する
- ③ 「温かく居場所のある学級・学校」づくり
・ 所属感の味わえる支持的な学級づくりの実現
・ 「いいところみつけ」「にこにこの木」等の取組
- ④ 異学年活動の場の充実
・ 縦割り班遊び、清掃活動、集会活動等を通して、リーダーシッ
プややさしさ、高学年への感謝や尊敬を育む

<進んで体をきたえ、粘り強い子ども>

- ① 望ましい生活習慣の確立
・ 生活目標の取組や中学校区で連携したパワーアップ週間の実施
- ② 多様な運動の場を設定した体力の向上
・ 体育の授業（基礎体力、柔軟性等）
・ 縦割り班外遊び（多様な動き、持久力等）
- ③ 目標達成を目指すスポーツタイムの実施

<家庭との連携>

- 安心、安全な学校づくり
・ 家庭での感染症予防対策等の徹底
・ 街頭指導、危険箇所の確認
・ スクールメールの活用による情報提供
- 家庭学習の充実
・ 「家庭学習のしおり」の活用
- PTA活動の充実
・ 学校行事の支援、学年行事の企画・運営
- 積極的な情報発信
・ HP、学校だより

<「自信」「誇り」「やりがい」をもった教職員組織>

- ① 一人一人の子どもをしっかり見つめ、伸ばすための教育活動ができる教職員
・ 深い児童理解 ・ 授業づくり ・ 保護者・地域・関係機関等との協働
- ② チームワークを大切にする教職員
・ 目配り、気配り ・ 同僚性（「雑相」） ・ 子どもの話を中心に
- ③ 他の教職員の実践や教育論にも耳を傾け、学び続ける教職員
・ 教え合い、学び合い（子どもの学びのロールモデル） ・ 授業公開
・ 積極的な研修参加
- ④ 心身ともに健康で活力があるとともに人権感覚を磨く教職員
・ 心身の健康管理（ライフ・ワーク・バランス）
・ 気づく感性（よさ・課題） ・ 場に応じた言葉遣い
- ⑤ 社会的立場を自覚し、組織の一員として協働をする教職員
・ サービス規律の確保 ・ 研修機会の確保 ・ 報告・連絡・相談（口頭・文書）

<地域との連携>

- ふるさと教育の充実
・ 地域の教育資源（ひと・もの・こと）の積極的な活用
・ 地域資源の教育資源化
- 積極的な情報発信と地域との交流
・ HP、学校だより、地域行事への参加
- 外部評価
・ コミュニティ・スクールの導入